

# 地域少子化対策強化交付金 事例集(都道府県分)

資料 2-1

- 結婚から子育てまでのワンストップ支援(切れ目のない総合的な支援体制づくり)【高知県】……………1ページ
- 結婚支援先進県による成婚力アップのための取組(愛顔(えがお)の婚活サポート事業)【愛媛県】……………2ページ
- 企業をキーとし若者を応援する結婚支援(ひろしま出会いサポートセンターの設置)【広島県】……………3ページ
- 若い世代への結婚から子育てを含むライフデザイン支援(未婚者に対するライフデザイン構築の支援)  
【埼玉県】……………4ページ
- 産婦人科医会との連携による情報提供(産婦人科医との協働による妊娠出産何でも相談会事業)【静岡県】……………5ページ
- NPO による妊娠期から子育て期までの家庭訪問(NPO が主体となった妊娠期から子育て期までの切れ目のない訪問型支援モデル事業)  
【山形県】……………6ページ

# 切れ目のない総合的な支援体制づくり

高知県

## 地域の実情と課題

### ○実情

- ・H25 出生数5,266人(合計特殊出生率1.47)
- ・H24 子育て中の女性の有業率 66.7%
- ・H22 生涯未婚率 男性22.1%、女性12.4%
- ・H25 平均初婚年齢 男性30.6歳、女性29.3歳

### ○課題

- ・働く女性が多く多様な支援を要するが、保健、保育、就業など制度ごとに縦割りの支援体制
- ・未婚化・晩婚化の進行が顕著

## 事業の特徴

- 子育てのみに止まらず、結婚支援や母子保健、再就職支援なども含めた幅広い情報をワンストップで提供する仕組み
- 結婚支援窓口を併設することで、課題があるものの支援窓口がなかった分野を解消

## 事業費

1,235万円

## 事業の評価

- 結婚・妊娠・出産・子育てに関わる様々な相談に対応し、情報提供を行うとともに、ホームページで各支援窓口の情報提供等を行った。また、遠方の方でも気軽に相談できる体制をとるため、窓口での来所相談や電話相談に加え、メール相談なども受け付けた。 ※相談件数349件
- 婚活サポーター制度利用者の成婚実績13件、メルマガ会員数2,175名

## 事業の概要

### 【趣旨・目的】

○結婚から子育てまでのライフステージ全般を通じた多様な相談へのワンストップでの情報提供と、総合的な結婚支援を行う相談窓口を開設することで、子育ての不安の解消や結婚支援の強化を図り、地域で安心して結婚・子育てできる環境づくりを推進していく。

【事業内容】 「高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー」の開設 (来所相談のほか、電話・メール相談にも対応)

### ①ワンストップでの情報提供

- 円滑な連携に向けた関係機関との検討会や市町村訪問の実施
- 支援情報の整理、相談マニュアルや周知広報HPの作成
- 支援制度や相談機関などの情報提供、最適な専門窓口の紹介

### ②総合的な結婚支援

- 独身者等の様々な相談への対応、婚活情報の提供
- 婚活サポーターによる支援制度の紹介
- サポーター間の情報交換促進、研修などの活動支援

など 1

## 事業の様子



電話相談に対応する相談員



婚活サポーターへの研修

# 愛顔(えがお)の婚活サポート事業

愛媛県

## 地域の実情と課題

### ○実情

- ・県事業としてH20に「えひめ結婚支援センター」を開設、出会いを提供し、約400組の成婚報告。
- ・報告者の平均年齢35歳前後と晩婚化が顕著。
- ・婚活に踏み出せない若者、異性との接し方に悩む独身者も多く、出会いの場以前の問題も。

### ○課題

- ・晩婚化によって、出産や育児期間が限られる。
- ・成婚事例が多くあるが、活かしきれていない。

## 事業の特徴

- 公的機関が5年以上取り組んできた課題や成婚事例等のデータを分析し、成婚力アップのための事例集を作成し、全国へ情報発信する。
- 婚活に踏み出せない独身者や上手く活動できない独身者の意識改革を行う。

## 事業費

970万円

## 事業の評価

「愛顔の婚活大学開催」: 受講後の参加者意識調査では、9割以上が「婚活を行う上で役立った」「参考になった」との回答があり、基礎講座・応用講座を通じて個々のスキルアップが図られ、婚活意欲が高まったと考える。(「参加人数」予定:300名、実績:461名)

## 事業の概要

### 【趣旨・目的】

- 出会いの場は整備されつつあるものの、晩婚化の進行や、婚活に踏み出せない、上手く活動できないなど成婚に至らない独身者への支援が課題となっていることから、個々の意識改革や成功事例を紹介することなどにより、結婚しやすい地域づくりを一層推進する。

### 【事業内容】

#### ○愛顔の婚活大学開催事業

独身者及び地域で婚活を支援する者向けに、有識者による基調講演をはじめ、コミュニケーション能力向上などのワークショップの実施、婚活力を高める好アドバイスや成婚事例等の紹介など基礎編・応用編の啓発講座を開催する。

#### ○婚活力アップ事例の情報発信事業

えひめ結婚支援センターの結婚支援システムに蓄積されたビックデータ及び関連データを分析し、成婚に至ったモデル、婚活力を高める好アドバイスなどの事例をまとめHPや小冊子で情報発信する。

#### ○婚活応援団体育成事業

地域で切れ目ない婚活を応援するために、婚活を応援する団体の掘り起しと育成を実施。

## 事業の様子

愛媛県地域少子化対策強化事業  
えひめ結婚支援センター

婚活している方や  
探っている方!

# 愛顔の婚活大学

えひめ結婚支援センターの成功ノウハウを活用した婚活大学開校です!

基調講演でスタートし、男女別の講座2回で自分を磨いて、ラストの12月合同講座でコミュニケーション能力のUPを確かめよう。全4回コースの講座です。一人ひとりが婚活への自信を持つことを目指します。また、地域で授業者の結婚を支援する活動者育成のための支援者向け講座も併せて開催します。

1. 基調講演	佐藤剛史氏 「結婚できる 「婚活」教室」
2. 基礎編	基調講演要約 婚活の仕方 自分を磨こう 原石を採ろう
3. 応用①	地域の婚活事情 データ分析情報 ワークショップ (個別相談含む)
4. 応用②	〈男女合同開催〉 おさらい ワークショップ コミュニケーション講座

**基調講演**

プロフィール profile  
佐藤 剛史  
Goshi SATO

生年、現在、九州大学大学院  
農学研究院助教、農学博士、  
野山に集まる結婚者、婚活研  
究士、食料、結婚の経済学  
は100冊を超える  
著書多数。

講師 九州大学 佐藤剛史先生  
演題 「結婚できる「婚活」教室」  
とき 平成26年10月30日(木)  
18:30~20:30(受付開始18:00)  
ところ コムズ(松山市男女共同参画推進センター)  
松山市三番町5丁目4番地20 089-943-6776

**参加費 無料**



# ひろしま出会いサポートセンターの設置

広島県

## 地域の実情と課題

- 実情  
社会の変化と若者の結婚観や結婚に向けた行動との間にミスマッチが発生  
・見合、職縁結婚の減少(「おせっかい」の減少)  
・雇用環境などの変化
- 課題  
・未婚者の積極的な結婚に向けた行動が必要  
・企業の応援等若者が行動しやすい環境が必要  
・男女の固定的役割観念等結婚観の変革が必要

## 事業の特徴

- 企業をキーとして、新しい時代の若者応援を醸成する取組
- 直接のマッチングではなく、未婚者自らの行動促進と社会環境づくりを目的とする拠点

## 事業費

2,021万円

## 事業の評価

○会員登録者数目標1,500人に対し、実績は1,364人であったが、若者の結婚に対する前向きな行動変容の促進が図れた。

○協力企業登録数目標50社に対し、実績は121社と大幅に上回り、企業における結婚支援の機運醸成が県内に広がりつつあると言える。

## 事業の概要

### 【趣旨・目的】

○ひろしま出会いサポートセンターを県庁内に設置し、インターネットを通じて会員サービスを提供するとともに、新しい時代の結婚環境を企業に担わせるため、企業訪問等により未婚者への応援を引き出していく取組を行う。

### 【事業内容】

#### 《未婚者向けの取組み》

- 登録会員に対して、結婚・婚活に有益な情報をメールマガジンやホームページ・フェイスブックなどで提供
- 散在する結婚・婚活に関する情報(セミナー情報やイベント情報)を集約して提供(既存事業対応)
- 未婚者の意識やニーズを調査し、市町、NPO、事業者等と共有

#### 《企業向けの取組み》

- 未婚者の自己啓発などの際に利用できるサービスについて割引などの特典を提供していただける企業を募集。
- 未婚社員の婚活を応援する取組を検討する企業を募集。企業内の推進役(企業内サポーター)を育成するためのセミナー等を実施

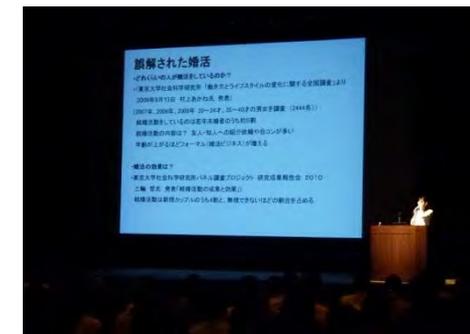
#### 《社会の機運醸成の取組み》

- 「結婚応援フォーラムinひろしま」の開催

## 事業の様子



(ホームページ)



(結婚応援フォーラムinひろしま)

# 未婚者に対するライフデザイン構築の支援

埼玉県

## 事業の様子



## 地域の実情と課題

- 実情
  - ・平成25年合計特殊出生率は1.33人
  - ・「核家族世帯の割合が高い」「男性の平均通勤時間が長い」等が要因と考えられる。
- 課題
  - ・保育所待機児童解消に積極的に取り組み、待機児童は年々減少しているものの、依然として合計特殊出生率は低いため、更なる対策が求められる状況。

## 事業の特徴

- 結婚への意欲を高めるだけでなく、あわせて結婚や家庭を持つことの意義を啓発。
- 講座にグループワーク等の受講者が主体的に参加する内容を含めることで、ライフデザイン等について考える機会を創出。

## 事業費

516万円

## 事業の評価

ライフデザイン講座を受講することにより、受講者の意識が変化したことを確認できた。  
【受講者アンケートの結果】(講座参加者の延べ人数531名)  
今後のライフデザイン形成に役立つと答えた割合...96%、受講前より結婚したくなった割合...89%

## 事業の概要

### 【趣旨・目的】

○未婚者を対象に、結婚や家庭を持つことの意義を啓発するとともに、妊娠・出産・育児等に関する正しい知識の提供を行うことで、受講者がライフデザインを構築できるよう支援を行う。

### 【事業内容】

- 県内4ブロックで講座を開催。  
「結婚から子育てまでのイメージづくり(ライフデザイン)」、「コミュニケーション能力向上」、「妊娠・出産・子育てに対する正しい知識」をテーマとし、一方的な講義だけでなく、グループワークなど受講者同士で意見交換をする機会も多く取り入れる。
- 事業の成果・課題・提言等をまとめ、県内自治体等がライフデザインに関する意識を高める取組を行う際に活用。

# 産婦人科医との協働による妊娠出産何でも相談会事業 静岡県

## 地域の実情と課題

### ○実情

・H24、25年度実施の妊娠・出産のための健康づくり事業イベント後に実施した交流会において、産婦人科医に熱心に相談する参加者がとても多く、産婦人科医への相談ニーズがあることを認識

### ○課題

・産婦人科は受診しにくい診療科とされ、不安や疑問があっても受診せず、また、受診したとしても数分という診察時間の中で、医師に十分な相談ができていない

## 事業の評価

妊娠・出産に関する正しい知識を学ぶための講座を個別相談と組み合わせて実施し、一般的な疑問については、講座を開くことで解決に結びついた事例も多く、また個別相談についても一般的知識を踏まえた上でより効果的な相談を行うことができた。

①参加者からは日頃聞きたくても聞けなかった疑問を解決できた、医師からは診療の中で助言が不足している部分を知る機会となったとの声が聞かれた。

②市町からは、学校や企業で開催する上での実施方法の参考となったので、来年度以降の市町事業として前向きに検討したいとの声が聞かれ、市町事業のモデルとなった。

(○アウトプット「参加人数」: 県内7か所280人⇒実績: 県内10か所671人)

## 事業の概要

### 【趣旨・目的】

- 妊娠・出産に関する疑問に対し、専門家(産婦人科医師)から正しい知識を得て、妊娠・出産に向けた準備を前向きに実践する者を増やす。
- 県がこれまで築いてきた県産婦人科医会とのパイプを活かし、地域の実情に合った妊娠・出産のための健康づくり事業を推進するための礎を構築する

### 【事業内容】

- 各健康福祉センター7か所にて、妊娠・出産に関して疑問のある者(1か所30~40人程度)を対象として、市町、学校、企業等との連携により、地域の実情に応じて相談会を開催
- 開催にあたっては産婦人科医会との協働で、各地区の産婦人科医を相談会に派遣

## 事業の特徴

- 安心・安全な妊娠・出産をする者を増やすために、自治体と産婦人科医会との協働による相談会を実施
- 男女ともに受診しにくい診療科である産婦人科医に直接相談できる場を提供

## 事業費

92万円

## 事業の様子

実施期間: H26. 10~H27.2

実施主体: 健康福祉センター(県内7か所)

実施方法: 産婦人科医による個別相談(妊娠・出産のための健康づくりに関するミニ講座と組み合わせる等、各健康福祉センターにて工夫)



# NPOが主体となった妊娠期から子育て期までの 切れ目のない訪問型支援モデル事業

山形県

## 地域の実情と課題

- 実情
  - ・児童虐待認定件数の増加  
23年度235件→25年度272件
  - ・母親の孤立等を背景とする児童虐待事件の発生
- 課題
  - ・母親の孤立を防止するために、産前期から継続して訪問型支援を実施する必要がある。

## 事業の特徴

○乳幼児のいる家庭を対象とする訪問型子育て支援については、普及が期されているところであるが、本事業においては、さらに産前期から継続的に支援を行い、支援効果を高めようとするものである。

## 事業費

1,315万円

## 事業の様子



《訪問風景》

## 事業の評価

- 訪問支援ボランティアを新たに16人増やすとともに、これまでの訪問支援ボランティア(35人)への産前産後に関する研修等を行い資質向上を図った。その結果、本事業の訪問利用者(訪問延件数368件)からは、不安が軽減されたなどの声が聞かれ、妊婦・子育て家庭の孤立解消、児童の健全育成、児童虐待の防止等に効果があった。
- 本事業を発展させ、平成27年度に「民間団体を活用した妊産婦等訪問支援・産後ケア実証モデル事業」を行うことにつながった。

## 事業の概要

- 【趣旨・目的】○産前・産後期・子育て期の継続した家庭訪問支援の実施の仕組みを構築するとともに、NPOが主体となって実施する子育て家庭への訪問型支援について市町村との連携による持続可能な仕組みの構築を図ることにより、結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備を行う。
- 【事業内容】訪問型子育て支援に関する知見を有するNPOに委託し、次の事業を行う(村山、置賜、庄内の3地域で実施)。
  - 産前・産後期・子育て期の継続した家庭訪問支援の試行
    - ・訪問支援ボランティア養成研修の実施
    - ・産前・産後期における訪問支援の試行
  - NPOと市町村との連携による訪問型子育て支援の実証
    - ・NPOが主体となって実施する訪問型子育て支援の地域への定着を図るため、NPOと市町村との連携による訪問型子育て支援を行い、その効果を実証する。